

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	住宅需給動向小委員会		主 査 名：吉川 徹 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：浦江真人
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	住まい手の需要に応じた住宅供給システムと、その実現のための政策に関する、 社会経済的側面と建築的側面を融合させたアプローチによる研究 初年度：コロナ禍や ICT の進化等による需要変化予測、先端事例蓄積 2 年度：人口動向や地域特性に応じた需要変化の分析、需要と事例の対照 3 年度：需要の時空間分析の発展、需要と事例の対照の時空間的体系化 4 年度：前年までの成果の総合、住宅供給について政策的知見の整理		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：吉川徹 (東京都立大学) 幹事：松本真澄 (東京都立大学)、鈴木達也 (香川大学) 委員：伊藤史子 (東京都立大学)、木内望 (建築研究所)、橘田洋子 (駒沢女子大学/シトラス)、讃岐亮 (東京都立大学)、志岐祐一 (日東設計事務所)、 瀬川祥子 (NEXCO 東日本)、生田目裕 (不動産価値創造支援機構)、温井達也 (プレイスメイキング研究所)、藤岡泰寛 (横浜国立大学)、西尾尚子 (信州大学)、米野史健 (建築研究所)、頼あゆみ (国土交通省)		
設置 WG (WG 名：目的)	無		
2023 年度予算	65,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	無
講習会	無
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	無
大会研究集会	無
対外的意見表明・パブリックコメント等	無
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 本年度も、委員個々の研究活動成果の SNS での共有を中心に据えた一方で、委員会会議開催回数は昨年度の 1 回に対して 3 回に拡大した (9 月オンライン、1 月ハイブリッド、3 月現地調査) となった。SNS での共有情報は、逐次情報提供がなされ、これが 1 月 (公的統計マイクロデータと GIS の組み合わせによる調査研究の報告と討論) と 3 月 (UR まちとくらしのミュージアムの設置過程の報告と討論) の委員会会議の議題になった。 2. 空き家の研究の詳細な成果を第 1 回委員会会議にて共有した。
委員会活動の問題点・課題	1. 昨年度に設定した課題である「SNS やオンライン会議と対面会議のベストミックス」については、上記の通り逐次なされた情報提供結果が委員会の議題に結びついたことから、軌道に乗ったと判断される。そこで次年度は、情報提供結果を委員会活動活性化に迅速に結びつけることと、大学所属の委員による研究室の研究成果 (統計データにも着目) の共有の円滑化を志向したい。